

想定・首都直下大地震ドキュメント
(地震から24時間・調布市の1日)

—居安思危 思則有備 有備無患—

(別 冊)

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
		災害対策本部（危機管理担当部長）の動きを中心に記載	防災花子を中心に記載 ●が花子本人の行動や考えたこと	◆は実際の対応等でこの想定とは別の動きが考えられる事項など ☆は、市民が、それぞれの事象において必要と思われる事前対策など ★は、行政が、それぞれの事象において必要と思われる事前対策など
想定	11月25日（水）	調布市役所 職員数 1262人 災害対策本部事務局 危機管理担当部長 総務部総合防災安全課職員15人 （課長，主幹，補佐，係長3人，主査，係員6人，専門嘱託員2人） 総合防災安全課 事務機器固定完了 （新規導入カラープリンター固定未実施）	4人家族 父 防災太郎（勤務地：新宿） 母 防災花子（近隣スーパーでパート） 長男 防災一雄（多摩郊外大学生） 長女 防災好美（市立中学生） 家具転倒防止や持ち出し品の用意など、ある程度の防災対策を行っている家庭。 国領町5丁目在住（東京都の地域危険度調査でランク3） 6階建マンション4階（1階あたり6件，36世帯が居住）管理人は平日昼間のみ在中	☆地震が起きた際にはどのような行動をとるか，普段から考えておくことが重要。 家族の安否確認方法 自宅の被害状況の確認 どのような状況で，避難するか など
16:30	日の入り			
18:00	<p>本震発生 震度6弱 震源 マグニチュード7.3 震源地 多摩中央 深さ20～35km 風速 8m/秒</p> <p>・通勤・通学者は，帰宅途中の者が多い（職員含む）</p> <p>【物的被害】 建物：木造家屋を中心に倒壊建物あり（約700棟の家屋が倒壊） 道路：複数の交通事故発生，通行不能が多数発生 火災：市内6箇所から火災が発生（1箇所は車両火災） 若葉町，仙川町の火災が特に延焼が多い</p> <p>【人的被害】 家屋倒壊及び家具転倒・落下等により，即死者及び要救助者が発生</p> <p>【ライフライン】 電気：いくつかの地域で停電（国領町含む） テレビ・インターネットも使用不能 ガス：自動停止 上水道：一部停止 下水道：状況不明 固定電話：光電話は通話不能，通常の固定電話は繋がっているが通話不能。 携帯電話：メールのみ可能 ラジオ：発信局あり（調布エフエムも発信）</p>	<p>【市役所職員状況など】 ・来庁している市民等の把握と被害状況の確認 ・市職員は7割が職場または調布近辺（徒歩で参集可能圏）にいる。庁内職員について各部署ごとに職員数を把握。</p> <p>・総務部総合防災安全課職員 在席職員6人 危機管理担当部長，課長，消防係長，防災係主査，防災係係員2人 管理職1人及び係員1人が振替休暇 係長1人が研修で都内（港区）出張中</p> <p>【緊急地震速報等】 ・Jアラート警報鳴動 ・緊急地震速報が携帯に着信</p> <p>【安全確保】 ・足元から突き上げるような揺れ 慌てて机の下に頭をいれ，揺れに耐える姿勢をとる。</p> <p>【事務室内状況】 ・窓際にあるロッカー上に並んでいる本やファイルが落ち始め，ロッカー前のホワイトボードが床の上を右往左往している。 ・カラープリンター落下破損 ・南側窓ガラスに亀裂が発生</p>	<p>父（太郎）新宿駅西口の高層ビル25階で被災（勤務中） 長男（一雄）大学内で被災（サークル活動中） 長女（好美）部活終了後の帰宅途中に被災</p> <p>●午後5時までのパートから買い物をしてもどり，夕食の準備を初めたところで，地震発生。 ●揺れが大きく立ってられないほどであったため，床に座りこむ形になる。 食器棚，冷蔵庫等は固定していたが，食器棚から食器が落下。落ちてきた食器で軽いケガ。 冬季のため，厚手の着衣であったこと，スリッパを履いていたこともあり，大きな怪我はなし。 ・停電により，周囲が全く見えない状況となる。その場からの移動ができない状況。 しだいに目が慣れ動けるまで数分が経過。 ●玄関に用意しておいた持ち出し袋から懐中電灯を取り出し，使用する。 ●家族の安否が不安になる。「171」に伝言を入れようとするも，光電話のため，不通。 （実際には，171は携帯電話でも利用が可能）</p> <p>※これからどうするか考えがまとまらない</p>	<p>◆災害が起きた直後，共助の活動を行う市民がどの程度いるか，家族の安否確認の有無などが影響するかなど，市民の動きについて予測することについて検討が必要 なお，この想定では，積極的な共助は行っていない</p> <p>◆火災については，地震発生から少し時間が経過して被害がではじめると考えられる。また，しばらく時間が経ってから新たに火点が生じる可能性もある。</p> <p>☆食器棚扉等への地震対策（開閉防止） ☆明かりの用意は重要。ルミカライトなどもあるとよい。 ☆「171」等の利用訓練</p> <p>☆事業所も可能であれば，衛星携帯電話やPHSを用意することを検討</p> <p>◆まず，同じ階で人が集まることが考えられる</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
18:01	<p>【テレビ放送内容】 「かなり大きい地震です。慌てて外に出ないようにしてください。落下物に気をつけてください。」（アナウンサーも動揺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の震度や震源地の情報 ・関東地方に大きな地震が発生 NHKのある渋谷区の震度は6強 震源地や震源の深さなどは現在調査中 <p>【消防庁受令機】 「地震発生，各署員は身の安全を守ってください。」</p>	<p>【テレビからの情報収集】 ・壁面固定の大型テレビのスイッチを入れる。</p> <p>【ラジオからの情報収集】 ・ラジオのスイッチを入れる。調布FMが安全確保を促す放送を実施中。</p>	<p>●何もできず，その場にたたずむ。</p> <p>「何が起きているかわからない」ことでより感情が不安定になることが考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・停電の場合，ラジオ等を利用 ・職場にテレビがない場合の対応について検討 <p>☆調布FMは災害直後から放送が実施できることが期待できる。電話やメール等のような通信不能の可能性も低く，非常に有効なツールであり，ラジオは，必須備蓄品といえる。</p>
18:02	<ul style="list-style-type: none"> ・たづくりの施設及び市庁舎の電気は点いていたが，市役所周辺ではところどころ停電 ・市庁舎は，窓ガラスが割れているのを確認，倒壊するほどの被害はなし <p>※市庁舎の状況を別途記載するか検討</p>	<p>○総合防災安全課における対応</p> <p>【状況確認】 揺れがおさまってから，職員の無事と室内の安全を確認し，壁にかかっている震度計の数値を確認</p> <p>震度6弱を確認 第3非常配備態勢（レベル3） 全職員で災害対応</p> <p>【秘書課への連絡】 ・内線電話を使用 「震度及び初期対応本部の設置を伝達」</p> <p>【広報課への連絡】 ・初期対応本部設置及び庁内の安全確認の実施の庁内放送を依頼</p> <p>【職員への指示】 ・職員参集メールの返信状況（参集可否等）の確認を指示 ・総務部長を通じての在席職員確認</p> <p>【副市長指示】 （市長は市内出張中） 「市内の被災状況と庁内の市民，職員の状況を確認し報告せよ。」</p> <p>【火災状況確認】 消防係が直通電話にて調布消防署へ火災及び負傷者の状況について確認</p> <p>【交通状況等確認】 生活安全係が調布警察署へ災害時優先固定電話で市内の交通状況やその他の被害状況について確認</p> <p>【庁内状況確認】 本庁舎内の来庁者，職員の安否確認，庁舎内の被害を確認</p>		<p>★総合防災安全課の職員は，万が一に備え，「調布市総務部総合防災安全課職員の災害時行動要領（平成23年4月1日策定）」（以下「行動要領」という。）によって事前に指令班，情報班，企画調整班などに担当を決めて配置されているが，在席している職員の絶対数が足りないことは想定していなかった。このような場合に備えて，他の課員の応援体制も含めて，事前に態勢を計画し訓練もすることで，より迅速に対応ができる体制の確保が必要。</p> <p>★管財課のみでは，庁舎内全フロアの把握状況が困難であることが想定されるため，必要に応じて，各部での対応を行うとともに，各部危機管理担当課長から総合防災安全課へ報告を行う体制整備も必要と思われる。</p> <p>★その他，庁舎内に限らず，各課で実施する説明会や出前講座，イベント等の状況についても，市民・職員の状況を把握するよう想定しておくことも重要と考える。</p> <p>★各課で設定されてある災害時用のアナログ回線用の番号を各課にて再確認しておく。</p> <p>★代表電話に電話が殺到することが考えられる。災害時の電話対応マニュアルを管財課に渡しておく必要がある。</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
		<p>【広報課】 ホームページを災害用のトップページに切り替え。ツイッターで冷静な行動を呼びかける。 (以降、情報の変化に合わせて、更新作業を実施)</p>		
18:05	<p>調布警察署体制 人員 約500人(狛江市含む) 交番 18 調布市12 狛江市6 駐在所 2 調布市 2 パトカー 5台 白バイ 4台</p> <p>調布消防署 人員 220人 消防車両22台 ポンプ車10台 化学車 1台 はしご車 1台 救急車 3台 その他 7台</p> <p>調布市消防団 15分団 団員304人 ポンプ車15台 指揮車2台 資機材車 1台</p>	<p>○総合防災安全課における対応 ・現状の人員体制を基本に、総務部内の応援も要請しながら対応することを決定</p> <p>【調布消防署から連絡】 「これから119番が多数入ってくると考えられる。概ね30分後には市内の被災状況や死傷者の情報をとりまとめ、第一報を伝達する」</p> <p>【調布警察署から連絡】 「110番などの入電状況や信号機や道路の異常などの情報を、約30分後に報告する」</p> <p>【消防団長から連絡】 「各分団長を通じて、団員の状況確認を行う」</p> <p>【副市長への報告】 ・ここまでの状況を報告。</p>		
18:10	<p>調布市地域防災計画事務分掌 ・議会事務局・選挙管理委員会事務局の職員は電話対応の業務 ・総務課・監査事務局の職員は災害対策本部の庶務や記録</p> <p>【災害時状況】(想定) ・当該所属の職員の多くは、すでに退庁してしまっており、発生10分のこの時点では、残っていた職員のみ。参集メールへの回答は入ってきている。</p>	<p>【庁内情報】(管財課) ・本庁舎エレベーター内に閉じ込められた職員がいる模様 ・8階で流し台やトイレの洗面台から水が漏れだしており、水道管か排水管に損傷が発生の可能性あり</p> <p>【市民から問合せ】 ・ガスが止まったが、どうしたら復旧するのかなど</p> <p>【庁内応援要請】 現在の人員体制では、電話対応や初期対応本部の設置に支障を来たすため総務部次長に、総務部内の管理職の応援を依頼</p>	<p>【好美8(長女)帰宅】 ・好美が帰宅。特に大きな怪我等なし。 [好美が戻ったことでかなり落ち着き、冷静に考えられるようになっている]</p> <p>【好美の話】 建物の外観に大きな被害はなし、小さなひび割れあり エレベーターは使用不能。 帰りがけに布田の方向に煙が見えた。</p>	<p>★地域防災計画の修正は大事だが、それよりも地域防災計画の周知と該当職場の職員を含めた訓練が重要。</p> <p>★市民からの電話については、特に重要なもの以外は、初期対応本部に回さないような体制を検討 災害対策専用の回線(非公開)を主要な部署に用意しておくことも検討</p>
18:20	<p>・消防署、消防団により火災対応が始まっている 国領町、緑ヶ丘には、比較的多くの部隊が集中している傾向 仙川町は延焼の可能性が高くなっている</p>	<p>・市は第3非常配備態勢(実質の運用は、時間外作業中職員及び参集職員による情報連絡態勢並の状況) 初期対応本部態勢が運用できるまでの人員は揃っていない</p>	<p>●好美の意見で、父・長男にメールを送る。携帯から171の録音も行う。 ●花子と好美で家の状況を確認。棚等から落下物があるものの大きな被害はない。</p>	<p>◆都内で大火災が発生した場合、恐らく調布からでも空の明るさや煙などでわかると思われる。 それによる不安の拡大も考えられる。</p> <p>★☆171について、更なる周知を図る必要がある。(市民及び職員に対して)</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
18:35	<p>【家族状況】（家には伝わっていない）</p> <ul style="list-style-type: none"> 太郎の職場は、震災対策をしていたので、大けがをした人はいない。 停電、また、同ビル内に多数の死傷者が出ており非常に混乱している。 従業員には事務所に留まるよう指示がでていますが、地震の恐怖・帰宅希望者の存在など、指示に従わない意見も出ている。（実際に移動している人間はいない） 携帯はメールも含めて繋がらない。（中継局が被災している） 一雄の大学は郊外の地盤の安定したところにあったこと、高層建物がなかったことから大きな被害は出ていない。構内での死傷者の状況は不明だが、大きな騒ぎ等は起こっていない。 電気もついており、比較的大きな地震に驚いた、という程度の状況。 <p>・都内は大きな被害が出ている。たづくりの屋上から都区部方面を確認。仙川の火災の向こうに大きな煙が何か所も出ているが見える。</p> <p>【消防署報告による市内状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災 緑ヶ丘、若葉町、仙川町、国領町、深大寺元町で火災発生、現在延焼中。 建物被害など 入間町、東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、下石原、富士見町、多摩川、布田、深大寺北町、深大寺東町では、小規模ながけ崩れ、塀や家屋の倒壊が発生。水道管の破損、エレベーター停止の報告も多数あり。 <p>【警察署報告による市内状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道20号線沿いで交通事故により電柱が被害を受け、そのため停電が発生し、信号機が作動していない箇所がある 国道20号線と中央自動車道は通行中の車両が渋滞や事故で止まったままになっている（旧甲州街道も同様）。追突した車両の一部から白煙が上がっているとの情報あり。緊急自動車の通行も困難な状況 武蔵境通り、三鷹通り、狛江通りは何とか通行可能な状態 鶴川街道では、多摩川原橋と道路とのジョイント部分に段差ができ、一部分の通行が不可能 	<p>【消防署より報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内状況について 家具や事務機器などの下敷きなどを含む119番通報が殺到中 消防署の所有する全車両が出場、これ以上の対応は不可能 <p>【消防団状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団長及び副団長1名が市に参集 無線にて各分団に指示。参集状況不十分により活動が困難な状況。 <p>【警察署より報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内状況について 緊急自動車は、武蔵境通り、三鷹通り、狛江通りや裏道等を通行 <p>【職員への指示】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災係の職員をたづくりの屋上に上がらせ、目視で市内の状況を確認させる。 <p>[確認内容]</p> <p>市内の各所から火の手が上がっている。幹線道路や中央自動車道の渋滞が見える。</p> <p>停電の影響等で確認できない所もあるが、崩れている家屋も散見されるとのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話回線に制限が加えられたらしく、一般の電話機や携帯電話による電話通話がほぼ不可能 関係機関とのやりとりは、主にMCA無線機にて実施 <p>【各部での対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> フロアの状況確認 防火扉やトイレ、エレベーターへの閉じ込め防止 非常階段・斜降式救助スロープの確保・準備 二次被害防止（落下物・ガラス）ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺（マンション内）等の状況を確認するため、好美を残し外へ <p>【マンションの安否確認】</p> <p>マンションのロビーに住人が集まっていた（集合場所を決めていなかった）</p> <p>【高齢男性2人、大学生男性1名、女性3人（花子含む）】</p> <p>周りを確認してきた大学生によるとマンション自体は大丈夫そうとのこと</p> <p>マンション住人の安全確認をするため、その場にいた人で階を分担</p> <ul style="list-style-type: none"> マンション内のいくつかの部屋は状況確認できず エレベーターに取り残された人はいなかった <p>【要救助者対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6階で助けを求めている、との報告（廊下で大声で呼んでいる） 住民が集まるが、ドアは施錠されており開かない <p>【最初の6人のほか、高齢男性3人、女性2人、学生4人（好美含む）集まる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣室住人は在宅であったことから、ベランダ側からの侵入を試みる 蹴破り戸を破壊したところ、鉢植えが邪魔となり侵入が遅れる リビング窓が施錠していなかったため、そこから侵入 倒れた冷蔵庫の下敷きになっている家人（高齢女性Aさん）を発見・救助 腹部を強く打っており、痛みを訴えているため、病院への搬送を決定 担架がなく搬送方法を相談することとなる（マンションの階段は通常の担架では搬送困難） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆家族の安否がわからない中で、活動が可能か ◆太郎の職場周囲では火災も含め被害が多数でていることが考えられる ☆災害マニュアル作成の検討 ☆平常時からの居住者情報の確認 ☆マスターキー等の管理体制、管理会社の対応について事前確認 ☆蹴破り戸付近にモノを置かないことを徹底 ☆救助資機材の用意 ☆ソフト担架等の備蓄 ☆高層ビルでは、家具を固定しない場合、転倒だけでなく、その移動で死傷者がでる可能性が高い。職場の安全対策についても確認しておくことが重要。 ★市内状況を把握するための庁用車の確保は必須と考える。平常時からガソリン補給を細目に行うなどの対策が必要。 ★立体駐車場に駐車してある庁用車については、使用不可となってしまうのか。対策が可能であれば対策を講じる必要あり。

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
18:45		<p>【市長が帰庁】 危機管理担当部長から、状況について報告するとともに、災害対策本部設置を宣言。</p> <p>【市長指示】（18:47） 「災害対策本部設置を命ずる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期対応本部要員等が参集中 ・防災課職員はこの時点で10人 ・各部署の安否確認、施設状況確認ははかどらず 		<p>★行動要領には、地震発生時からの一定の対応手順は決められているものの、災害時には、電話対応や係員への指示に追われ、冷静にその手順を進められないことが考えられる。大きな災害に対応できる基本的な手順を繰り返すような訓練が必要。</p>
19:00	<p>【テレビ情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震源地や震源の深さ、各地の震度を放送 震源地は立川市、震源の深さは20kmから35km程度 ・調布市の震度は一部地域で6強、あとの地域では6弱 	<p>災害対策本部設置 市長が災害対策本部設置を宣言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政経営部長に、庁内放送で本部設置の周知を依頼 ・災害対策本部員（各部長）に対して、参集システムにて第1回災害対策本部会議を午後7時15分にたづくり西館3階で行う旨を連絡（各部の市民来庁者、職員数等の報告を依頼） ・東京都総務局総合防災部に都通信システムで本部の設置を報告 報道機関への発表も実施 ・庁舎入口に「調布市災害対策本部」の掲示板を設置 ・調布FM及びJ：COMから1名ずつ人員派遣あり。以後、市の情報を随時発信開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛布を利用して搬送（毛布の両端を丸めた簡易担架） 大学生を中心に4人で搬送 	<p>☆昼間は男手がないことが考えられる。資機材等でカバーできるように検討必要。</p> <p>★大規模災害での報道機関への情報提供の実施についての検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J：COMでの調布市の情報の発信は、武蔵野市、三鷹市、狛江市等と一緒に、主に画面にL字型にでる文字情報になる予定 ・調布エフエム、J：COMと併せて、新規に協定を締結したヤフーへも情報提供予定
19:08			<ul style="list-style-type: none"> ・被災者住居扉から出て移動を開始 	
19:10	<p>余震発生 震度5弱 【太郎職場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じフロアの他の事業所と連絡をとっていた。 ・負傷者も出ており、搬送も含め、今後の対策について相談していたところで、余震。 ・階段で移動中だった人に多くの負傷者が出た、との情報が入る。 ・各階で、階段ホールの負傷者をフロアに移動する作業が行われている。 <p>※この余震でさらにビル内に留まることの恐怖が強まっているが、階段での事故で移動することに対する危険も目の当たりになり、混乱が広がる恐れ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室集合中の本部員を含め、安全確保に努める ・会議室の棚の書類が崩れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段の直前で余震発生 ・新たな余震に備え、慎重に搬送 ・ロビーまで搬送したところで搬送先を多摩川病院に決定、移動開始 ・残った人でマンション内の状況確認等を行うこととする ●花子はマンションに残る 	<p>◆階段で余震が発生した場合には二次被害が発生する可能性が高い</p> <p>☆できれば階段には手摺を設置しておくことが望ましい</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
19:15	<p>[市内の被害状況]</p> <p>○人的被害 死者不明 負傷者多数 建物倒壊や家具転倒等による負傷者も発生している模様</p> <p>○物的被害 東部地域，北部地域を中心にがけ崩れ，家屋や塀の倒壊，電柱の傾きや電線の垂れ下がりなどが発生。家具，ブロック塀，看板等に事故も発生。件数は調査中。</p> <p>○火災 5箇所 仙川の火災が特に大きく，かなりの棟数が延焼中</p> <p>○東京電力によれば，地震による停電のほか都内全体で安全確認が終わるまで部分的に電気の送電をストップしている。（調布市内も数か所が停電）安全確認が終わり次第，ブロックごとに送電を始める。</p> <p>○東京ガスは，マイコンメーターが作動してガスが一斉にストップ。西部支店では一定範囲のガス管の点検終了までは，メーターの復旧ボタンを押してもガスは出てこないとのこと。ガス利用者に周知するので，市でも協力を願いたいとのこと。</p> <p>○市内数カ所で水道管破裂による道路冠水等が発生</p> <p>○国道20号線の下石原交差点，調布駅入口T字路，東つつじヶ丘1丁目付近でそれぞれ車両同士の接触事故があり，負傷者が出ている模様。</p> <p>○旧甲州街道西調布駅入り口付近では，車両同士の追突事故により白煙があがっており，消防団が消火中との情報あり。</p> <p>○交通信号が停電により消えている。</p> <p>○市内のマンションや商業ビルの多数で，エレベータ閉じ込めが発生。110番や119番通報も多く入ってきている。</p> <p>○京王線は，変電設備の障害により全線で運転を見合わせており，今後，帰宅困難者が各駅に下車してくる見込み。 布田駅では，2両目までがホームに入った状態で電車が停止した。負傷者等は出していない</p> <p>○入間町付近で小規模ながけ崩れが起きていると周辺住民から通報が入っている。</p>	<p>第一回災害対策本部会議実施</p> <p>・本部長開始宣言後，各部から状況報告</p> <p>危機管理担当部長 市内の被害状況報告。 京王線の運行が停止されたことに伴う駅前滞留者や帰宅困難者の受け入れ態勢の構築の必要あり。</p> <p>【各部報告内容】</p> <p>総務部長 総合防災安全課から職員参集メールの返信状況の資料に基づき，職員の参集状況の報告が行われた。</p> <p>市民部長 避難所開設並びに各種課題への対応を迅速に行うため，教育部と連携し，態勢の調整を実施。避難所人員，二次避難所開設確認を実施中。</p> <p>生活文化スポーツ部長 グリーンホール大ホールでは催し物が開催される予定であったが，この地震で中止。大ホールの開放が可能。しかし，既に会場に来ていた催し物の主催者とその観客約300人が帰宅困難者となった。文化会館たづくり等も解放可能。</p> <p>子ども生活部長 児童館，学童保育，保育園等の施設の安全確認中だが，いくつかの施設で窓ガラスの損傷，天井からの蛍光灯の落下などがあり，一部児童にけが人が出ている模様。今のところそれ以外には施設に大きな損傷の情報が入っていない。各施設とも保護者の引取まで児童を預かる方針。</p> <p>福祉健康部長 緊急医療救護所開設に係る職員の状況を確認中。また，医師会，各病院等と連絡をとり準備状況を確認中。災害時要援護者の安否確認について，協定団体，民生委員等の協力を基に作業実施中。</p>	<p>●残った人でマンション内及び近隣避難所について確認することとする</p> <p>●理事の高齢男性と花子で第二小学校を確認に出発 好美は自宅で家族からの連絡を待つことになる</p>	<p>★停電時に備え，十分な照明用具の確保が課題</p> <p>★夜間訓練の実施が必要</p> <p>★各職場にて，職員参集の想定について検討しておく必要あり（どの程度の時間でどの程度の人員が参集できるか）</p> <p>★各職場においても，それぞれの情報収集方法について検討しておくことが必要</p> <p>★プレスは基本的に会議には同席させないのが一般的だが，情報の迅速性の観点から対応について検討必要。 なお，調布FMについては，市との関係性が他のプレスとは異なっており，基本同席させることを予定している。</p>
	<p>【傷病者搬送の状況】</p> <p>・多摩川病院方面に煙が見えたが遠いので，大丈夫と判断して搬送継続</p>	<p>環境部長 市内各所で水道管損傷あり。東京都水道局と連絡をとりつつ，下水道課職員により上下水道の被害状況を確認中。</p> <p>都市整備部長</p>	<p>◆進行方向に火災の煙が見えた場合，遠くであればそのまま進むか。 風向きにもよると思われるが，煙が見えた時点で引き返すということも十分ありえる。</p>	

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
19:20	<p>【傷病者搬送の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停車している車等もあったものの、15分程度で病院に到着 ・病院前では医療救護所立ち上げの準備中 ・医師がとりあえず症状確認を実施 ・肋骨が骨折しているようだが、緊急性はなく、痛みどめで間に合うとのこと ・（マンションの台所は一般的にあまり幅がなく、方向によっては冷蔵庫が完全には倒れない。このケースでは、倒れかかってきた冷蔵庫にぶつかり転倒したが、冷蔵庫につぶされた形にならなかったと想定している。なお、冷蔵庫の重さから肋骨は骨折しているため痛みは強く動けない。） 	<p>東部方面のがけ崩れや市内数か所における家屋倒壊の状況を報告。何棟かの家屋の倒壊により下敷きになっている人がいる模様。調布市建設業協同組合等の協力団体に警察官や消防署員とともに救出に全力を尽くすよう依頼した。また、環境部長に緑と公園課現場職員の協力依頼。</p> <p>教育部長 避難所となる学校の状況について、残業している教職員がいる学校では（学校の教職員の勤務時間は16:45までなので、多くの教員は帰宅している。また、市の用務・給食調理員・事務職員は全て帰宅している）、避難所の設営等に協力してもらえそう。この時点では初動要員はほとんど参集できていない。</p> <p>議会事務局長 全議員に災害対策本部を設置した旨の連絡を発信した。また、今後の状況によっては、議長と相談して、災害対策支援本部の立ち上げを検討する</p> <p>消防団長 消防団の活動状況について簡潔に説明。</p> <p>【本部長（市長）指示】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①負傷者や市民の生命保護のための自衛隊出動要請 ②福祉健康部長に対する災害対策医療本部の設置 ③市内の全避難所を開設し、避難者、特に災害時要配慮者や女性に配慮した運営に万全を期すこと。 ④帰宅困難者等の一時滞在施設の確保と支援の徹底 ⑤余震に備えるとともに、職員の安全にも配慮すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉健康部長 たづくり西館1階に「調布市災害対策医療本部」を設置するための準備に入り、医師会館あてMCA無線で連絡を実施。 ・危機管理担当部長 自衛隊の出動を都に要請 	<p>【避難所にて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二小学校に到着。外観上は大きな被害は見当たらない。 ・第二小学校にはすでに相当の人が集まっていた。（全員が避難者ではない模様） ・教員が残っていたこともあり、体育館はすでに開いている。 ・避難所運営マニュアルに基づき避難所の開設作業を行うため、協力者を募っている。 ・（花子はこのときはじめて、マニュアルの存在を知った。） ●家族のことは心配だが、協力することに。理事の方にマンションに戻って、伝えてもらうことにする。理事は、マンションでも手伝いと呼びかけてみる、とのこと。 <p>・教職員と市職員、避難者、協力者により備蓄倉庫から資材を運搬。</p> <p>（市職員は初動要員という人らしい。避難所運営についてはあまり詳しくないようマニュアルを見て、教職員と相談しながら指示出しをしている。どこかの自治会の理事さんも一緒に活動している。）</p> <p>備蓄倉庫の懐中電灯で作業を進めている。（簡易ライトも使用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の作業は発電機を動かし、投光器をつけるというもの ・廊下やトイレは簡易ライトなのでかなり暗い ・明かりがついたことで避難者を含め、全体的にだいぶ落ち着いた感じになった ・ラジオが用意され、調布エフエムの放送。市内の火災状況、開設された避難所については、ほとんど放送されない。都内では、大きな被害が出ている模様、との放送が気になる。 ●避難者名簿作成の協力を依頼される。（避難者に紙を配布して記入してもらう） ●避難者と協力者がわかりにくい。 	<p>◆今回のような勤務時間終了直後など、時間帯によって、初動要員として動くべきか否か全庁的に再度確認する必要性を感じる。市役所にまだ在席していた場合、参集場所にいくことが必ずしも効率的ではないことも考えられる（移動時間等）</p> <p>★☆日頃から市民へ「避難所運営マニュアル」の存在を周知しておく必要性あり。</p>
	<p>【傷病者搬送の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんを担架に乗せマンションにもどることを決定 ・帰りの道中に、今後のことを検討 ・火災を避けて、4中まで避難したほうがいいのか、との意見あり 			<p>★避難者と協力者を区別する方法について検討が必要</p> <p>（備蓄されている要援護者対応等に利用予定の養生テープによる対応を含め検討）</p>
19:45	<p>【傷病者搬送の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず火災が大きくなっていないことから、マンションで待機 ・傷病者は1階住人の部屋にいてもらうこととなる 		<ul style="list-style-type: none"> ・体育館内のスペースの確保で若干の混乱があったが、あらかじめルールが定められていたことにより、落ち着く。（要配慮者はトイレ等に行きやすい場所など） ・避難者には小さな子供や高齢者もいて、 	

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
			<p>かなり不安そうな人もいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この間も避難者は増えている。 ・トイレに行った人から水がでないとの報告 簡易トイレを利用するよう指示があった。 ・避難者から「腹が減ったからなんとかしろ」との声があがる。 <p>市職員が、「避難所は共同生活を送る場なので、みなさんも協力してください」との回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の粉ミルクがほしいとの希望有り 粉ミルクや水、容器はあったがお湯をどうするか、という話になる。 <p>カセットコンロは備蓄品に有り。市職員が本部にカセットを依頼した。</p> <p>当面の対応として近所で借りられないか聞くことになり、人手を募る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道は止まっているため、受水槽から備蓄品の容器（ロンテナ）を利用して運ぶことになる <p>避難者も含め人手を募って実施</p>	
20:00	<p>【火災状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙川では周囲まで延焼が進んでいる ・仙川の火災はかなり遠くまで煙が見える状況 ・国領の火災は、少しずつ落ち着いている <p>【避難所状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所に来た人の数は想定より少ない。500人程度。 <p>通勤・通学で他地域に外出している市民が市内に戻っていないことが要因として考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館が狭いこと、要配慮者等にスペースをとる必要から教室も開放 教職員が残っていたことで作業が比較的スムーズに進んでいる ・避難者の中では、家族の安否がわからないことに対して不安が広がっている 避難所担当者等に情報を求める人が多い 	<p>【記者会見実施（第1回）】 たづくり西館3階会議室にて 報道関係者3名 大手新聞社1名 J：COM1名 調布エフエム1名 広報課長の司会で実施 本部長から、市内の被害とその対応状況を説明 総合防災安全課がそれまでに収集できた情報をまとめたペーパーを作成・配布</p> <p>調布FM・J：COMでは、会見を基に放送を実施</p> <p>【医療対策本部の設置】 福祉健康部長から報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たづくり西館1階に医療対策本部設置 ・今後、重症や重体の患者を災害拠点病院に移送する業務での応援要請等が市にくる可能性がある ・多くの保健師が帰宅し、連絡もつかない ・緊急医療救護所から、MCA無線機を使って市の保健師又は看護師を要請する連絡が医療対策本部に入ってきているが、十分な対応ができていない ・災害対策本部用の優先機能付き携帯電話にて連絡をとることとするも、思うように連絡がとれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の増加に伴い、人手が増え、少し余裕ができた。 <p>【一雄からのメール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少し落ち着き、携帯を確認すると一雄からメールが入っていた。 無事で、大学から構内にて待機するようという指示があり、留まっているとのこと。 太郎からは連絡はきていない。 ●それなりに人手があるようなので、家に戻ることとする。 市職員（ベストをつけていたのでわかりやすかった）に声をかけて、避難所を出る。 避難所は多くの人で床が見えないほどになっており、教室を解放するか相談していた。 	<p>☆家族から連絡があった場合（メールや171等片道のツールで）はできる限り返信を行うこと</p> <p>★体育館以外の場所を解放するための鍵等の事前準備が必要</p> <p>★記者会見等での発表内容は紙の形で廊下に張り出すなど、会見参加できなかった報道機関が簡易に確認できるようにすること</p> <p>◆調布市が被害の中心でない場合、どの程度の記者会見が必要か。災害対応を優先することも選択肢としてあるか。</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
20:15	<p>【避難所状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所の壁に情報を記載した紙が貼られることとなる 都内を中心に多くの被害が出ているが詳細は不明 避難者より寒いとの声がある 毛布一人一枚では、いられないとの意見により、避難者の家や近隣から布団等を運ぶこととなる。 学校の備品も含めリアカーが3台あることから3班集体で活動をする 班の人数を大目にし、被害家屋の安否確認もすることに。 避難所で活動していた自治会役員が、地域でも安否確認することを提案 近隣から人手を募って実施することに 	<ul style="list-style-type: none"> 職員から、災害対策本部事務局（総合防災安全課）に、自分の仕事内容についての問い合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ●マンションに戻る。停電が続いており、暗いまま。 ロビーに張り紙。何かあったら理事長の部屋に報告してほしいとのこと。 ・家の中は暗い。（懐中電灯以外の明かりを用意していなかった） ・好美は暗い中、携帯でテレビを見ていた。 ・一雄からのメール、太郎からの連絡が来ていないことについて話す。 ・テレビでは、都内でかなりの被害が出ているとのこと。 ●太郎の安否が非常に気になる 171にかけてみるも録音等はなし（一雄の無事について録音） ・好美は「片付けをしたが、暗くて足元を開ける程度しかできなかつた」とのこと。 ・Aさんのことを聞くと、大きな怪我ではなく、1階の部屋で寝ているとのこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆過去の災害では、避難者は比較的整然と行動している （避難が継続している間の軽犯罪等は発生している） 計画では、警察が可能な限り避難所についても人員を配置し、秩序維持に努めることとなっている ★避難所運営マニュアルに近隣からの物資調達について記載することを検討 ★職員への「各部マニュアル」の周知、各所管におけるマニュアルに基づく訓練の実施等による災害対応態勢の習熟が必要
20:30	<p>【避難所状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所では、お湯が少ししか用意できず、水でアルファ米を作ることになる 	<p>【避難所開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 32箇所の避難所の開設作業を開始 ※この時点ですでに開設し、避難者受入作業に入っている学校あり <p>・総合防災安全課職員が東京都災害システム（DIS）により、避難所の開設状況、被害状況を東京都に報告</p> <p>・防災行政無線、安全・安心メール、調布エフエム、JCOM等を使って避難所の開設を案内する放送を実施</p> <p>【駅前滞留者対応】</p> <p>災害対策本部が、駅周辺の一時収容施設の開設による駅前滞留者及び帰宅困難者対策の実施を決定</p> <p>（対象施設：グリーンホール大ホール、せんがわ劇場、つつじヶ丘児童館ホール、東部児童館）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●好美から食事をしようと言われる。余震が怖く、火を使いたくなかつたので、缶詰とパンですませる。水の買い置きが少なく、不安になる。 ●トイレを使う。水がでないため、用便後、残っていた風呂の水で流す。 ●家にラジオがないことに気付く。情報源がスマートフォンしかない。 ●一雄に再度メール、状況等について尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆食料、水は少なくとも3日分は用意が必要。最初に大目に買い、古いものから使って買い足していくような形が効率的。 ☆備蓄倉庫にスペースの余裕があれば、クラッカー等、アルファ米以外の食品も用意したいところ ☆マンションでは、下水管等に被害があった場合、上の階の住人の流した排水で被害が発生する可能性がある。簡易トイレ等を準備し、確認まで下水を流さないよう努めたい。 ☆電池式のラジオを用意しておくこと。スマホのネットラジオ設定も有効。 ★学校等、避難所となる施設のガスをプロパンガス（バルクタイプ）にしておくことと都市ガスが停止してもガスが利用できる。検討の余地あり。 ★都立学校における避難所開設訓練の実施が不可欠
21:00	<p>【太郎職場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺で火災が発生していることや、事務所内は大きな被害がないことから、落ち着くまで職場に留まるといふ人が大半（何人かは帰ってしまった） ・携帯やメールでなんとか家族と連絡をとろうとするが繋がらない ・職場で、食事と給水、休息の指示 食事と水は備蓄されていたもの、休息に使用する道具はなし 	<p>【避難所状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの避難所では参集した初動要員は1～2人 ・学校の教職員や参集した初動要員から、避難所の開設が大変だとの声が上がっている ・避難所運営マニュアルの作成に携わった地域の市民が、避難所運営の中心的役割を果たしている所が多く、避難所運営の支援に駆けつけてくれている ・市民部、福祉健康部、子ども生活部、教 	<p>【自治会からの依頼】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事さんからロビーに集まってほしいとの連絡 自治会の人が出て、近隣の安否確認等をしており、人手がほしいと言っているとのこと （マンションなら多くの人がいるので人手があると思ったとのこと） <p>【近隣の安否確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認に行く人を決める。救出等の可能性もあるため、男性や若い人を中心に実 	<ul style="list-style-type: none"> ☆マンションとしての備蓄についての検討も。 ソフト担架や簡易トイレ、救出救助資機材などがあると便利、明かりも重要 受水槽の場所、振動感知で自動停止するかの確認も。 ★様々な主体の安否確認が重複しないで済むよう「無事サイン」の周知・啓発が必要 ★防災教育の日や総合防災訓練などでも声が上がっているが、初動要員の対応を前提

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
		<p>育部のうち、教育部以外では、担当する避難所の担当職員の割り当てが決まっていな いことから、職員の参集が遅れている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都立神代高校と都立調布北高校からは、資機材が備蓄されていないため、避難者に対する水、食料、毛布のほか資機材などを配送して欲しい旨の要請あり ・開設時に避難者名簿作成（けがの状況等も含む） <p>【緊急医療救護所開設状況】 福祉健康部長から報告 医師会はあらかじめ定めた震度6の地震発生による自動参集に基づき、参集中。 病院によりばらつきはあるものの、6割程度の医師が、災害拠点病院（慈恵医大第三病院）、災害連携病院（調布病院、調布東山病院）及び災害支援病院（青木病院、飯野病院、吉祥寺病院、北多摩病院、多摩川病院、山田病院）に参集し、緊急医療救護所の活動を開始</p>	<p>施。 花子もメンバーとなる。 動きやすい靴と手袋が必要との意見により、服装について見直す。 ボールやジャッキ等も持っていこうという話になり、車載の工具セット等を用意。男性がリュックに入れて運ぶことになった。 ・集まった人からマンションの備蓄等について質問有り。 理事が確認しておくことになる。（備蓄をしているという話は聞いていない） ●マンションのある区画について安否確認を行うこととなる（マンション住人1組4人で実施） 避難所に行くときは暗さもあり、道路の状況ばかりを見ていたが、改めて近隣の被害を確認することになる ・大きく壊れた家はないものの、多くの家に大小の被害がある ・声掛けをすると家から出てくる人と全く反応がない家がある 反応がない家は、念のため玄関のドアをチェックする</p>	<p>とした体制には検討の余地があり、初動要員と避難所担当職員の連携体制の整備が課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆現実的には、最初の避難所への移動中に周辺状況を確認していることが考えられる。ここでは、進行の都合上もあり、最初の移動での周辺確認を割愛。 ★災害時においては非常勤特別職として勤務している保健師（予防接種や検診時に依頼している）の緊急医療救護所への配置を決めておくことも必要と考えられる。 ★避難所の担当職員（初動要員ではなく）の参集が遅れる、交通機関不通により長期間来られないなどの不測事態が発生したときの対応について検討必要。
21:20	余震発生 震度4強	<ul style="list-style-type: none"> ・度重なる余震により不安と被害が拡大している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路上で余震に会う。強い恐怖。安否確認を続けるか迷う 	
21:25		<ul style="list-style-type: none"> ・調布FMでは独自取材に基づき、市民の声を反映した内容についても放送を行っている。 	<p>【要救助者発見】 外見上は大きな被害がない家だったが、玄関で呼びかけを行ったところ中から返答 玄関はカギがかかっていたため、入れる場所を探す（窓のカギがかかっていないところをみつけ、家内に。念のため、靴は履いたまま入る） ・一人暮らしの高齢者。仏間で寝ていたところ、仏壇が倒れ下半身が挟まれ動けなくなった。 かなり重量のある仏壇、ジャッキで持ち上げ負傷者を引き出す。 足が動かないとのこと。（痛みもかなりあるもよう） 【負傷者搬送】 ●マンションでの経験を活かし、毛布で担架を作り、病院に搬送することに。 担架は4人でもつため、安否確認は5人で行い、1人連絡できる人がいるとよかったという話になった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆災害時に避難するときであっても可能な限り施錠等の防犯対策が必要 ★災害時にはテレビ・ラジオなどの報道機関の情報も対応に有効な資産となる。庁内各部署においても情報を得られるような体制整備について検討に必要あり。

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
21:35			<p>【病院到着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリアージの順番を待つ 負傷者は病院で用意された車椅子に移す ・付き添いに一人を残し、報告等もあるため一度もどることになる 自治会の集合場所として指定された第二小学校の校庭に向かう 	
21:45			<p>【第二小学校到着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さきほどより多くの避難者がいるように思える ・自治会の区域内だけでも負傷者が多くでているとのこと ・救出する班と安否確認の班にわかれて対応を行っているとのこと <p>●安否確認を継続するよう依頼され、地域に戻ることに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションに戻る道中で、さきほどの残りの家を回る途中で雨が降ってきた 雨具の用意をしていなかったため、マンションに戻ることに <p>【マンションにて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションにもどるとロビーで話し合いが行われていた 3階の部屋で天井から汚水が漏れているとの報告あり（下水管の故障が原因と思われる） 下水に水を流さないように、という指示がマンション全体に出ているとのこと トイレはマンション以外の公園や避難所等ですか、簡易トイレ等を使用することに。 大きなビニール袋で、新聞紙等を細かくしてとりあえず利用できることを教わる 	<p>◆安否確認で遺体をみつける可能性がある（その後の流れが繋がらなくなるため、ここでは見つけない想定）</p> <p>また、被災者（搬送が必要な者）が次々に見つかる可能性もある</p> <p>☆災害時には雨に濡れても暖をとったり、着替えたりできるかわからない。気象状況にも注意した行動が必要（避難用品、備蓄品として雨具を必ず用意しておくこと）</p> <p>マンション内の下水管の共用部配管に被害があった場合には、パイプスペース内に汚水が出るため、各戸への漏水はない。共用部に至る管については、天井内を走っているため、そこに被害があった場合には、下の住宅に漏水することとなる。</p> <p>電灯や火災報知機等の設置のため、天井には無数の穴が開いているため、漏水は比較的少量の水でも起きることに注意。</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
22:00	<p>[市内の被害状況]</p> <p>○火災 5か所 当初からの火災は概ね収まりつつある。仙川も勢いは弱まっており、延焼防止に全力を挙げているとのこと。 消防署、消防団による鎮圧箇所、新規火災発生箇所あり</p> <p>○死傷者 死者複数名 負傷者約300人 家具の下敷きや落下した看板との接触などが死亡原因の模様。</p> <p>○緊急医療救護所 全病院前設置、負傷者対応実施中 重症者の移送体制が不十分</p> <p>○建物倒壊状況 市内全域で木造家屋などを中心に数百軒が倒壊 下敷きになっている市民が多数いるとの情報あり。</p> <p>○道路状況 染地や布田のハケ付近の土地や道路に隆起、ひび割れ、陥没などが発生 品川道国領付近の上り車線でトラックと車両の接触事故あり、一部片側通行 警察と都市整備部で対応中。</p> <p>○国道20号線 多数箇所で信号機使用不能 街頭照明消灯 下り方面に向かう帰宅困難者多数あり</p> <p>○調布駅入口付近に日本赤十字社がエイドステーションを設置。</p> <p>○京王線 全線で運行見合わせ。 変電設備の復旧に時間を要す見込み。</p> <p>○JR・小田急線 全線運行見合わせ 今夜中の再開は困難。</p> <p>○水道管損傷が市内数カ所で発生 東つつじヶ丘で道路冠水 若葉町付近で地下車庫内への浸水発生 市内消火栓、大多数使用可能</p> <p>○東京電力 送電線の安全確認のため、復旧まで数日を要す見込み</p> <p>○東京ガス ガス供給管点検作業実施中 確認終了次第、各家庭での復旧案内予定 24時間程度で作業終了見込み</p> <p>【ラジオ放送内容】（調布エフエム） ・仙川方面は大きな火災となっているため、避難してください。 ・市内の小中学校の避難所が開設していま</p>	<p>第二回災害対策本部会議実施</p> <p>【各部報告内容】 危機管理担当部長 市内状況について報告</p> <p>総務部長 本庁舎内のエレベータの閉じ込めは無事救出 本庁舎のエレベータ棟と事務棟のジョイント部分に大きな損傷が出ている 今後の余震によっては、本庁内への市民の立ち入りを制限又は禁止すべき 8階の漏水継続 明日の業務は困難</p> <p>市民部長 避難所担当部の職員が避難所に向かい、体制が整いつつあり、初動要員と交代を始めた。 場所によっては、部屋割りや用品の配置場所などを巡って若干のトラブルが発生している。 市民課、納税課などコンピュータ関係の損傷について調査中 多くの職員が避難所担当であり、職員が不足している。 システム運用の可否など、情報管理課と連携を図り、明日の市役所業務の対応について検討中 停電の状況や本庁舎の損壊状況などからみても、かなり難しいと考える</p> <p>生活文化スポーツ部長 駅前滞留者対策も含め、グリーンホール大ホールに加えて、たづくりくすのきホール及びむらさきホールの開放の準備に入る。 地域福祉センターについても、二次避難所として開設し、要支援者の受け入れを進めるための準備に入る。 たづくりは一部壁面に亀裂ある。トイレは利用可能。</p> <p>子ども生活部長 保育園と学童保育で親の引き取りがない子どもが全体で約100人、それぞれの施設で対応中。交通機関が不通のため、児童はそれぞれの施設で宿泊対応予定。</p> <p>福祉健康部長 緊急医療救護所対応について、医師会等の協力を得て実施中。大きな混乱は生じて</p>	<p>【花子帰宅】 ・太郎からの連絡はないとのこと。 とりあえず、ウェットティッシュで手をふく。 明かりがないため、とりあえず何もできない。 好美のスマホでワンセグテレビを見るが、都内で大きな被害が出ていること、都内で連絡がつかないところが多くあることなどがわかるのみ。</p> <p>【隣家への声掛け】（ラジオ情報） ●不安から隣の家に声をかける</p> <p>・隣家住民はラジオで情報を得ていた。</p> <p>●調布エフエム以外の局も聞かせてもらう</p> <p>【ガス復旧】 ●まわりの家と相談してガスの復旧をすることにする。 好美といっしょに普及作業、特に問題なく復旧完了。 寒いので、お湯を沸かしてお茶を飲むことにする。</p>	<p>情報が無い不安から、人がいるところに行きたくなる可能性あり。</p> <p>★管財課もしくは、建築士有資格職員等による本庁舎の安全性の検証・検査態勢について事前に用意が必要</p> <p>★市民課においては、死亡届の届出が想定されることから、届出の受付事務ができる安全な場所の確保が必要（第替執務スペースについての検討も必要）</p> <p>★避難所運営マニュアル未作成の小中学校における計画的な作業の実施</p> <p>★現在配備を進めている2台目の備蓄倉庫はまだ3校にしか設置できておらず、未設置の学校では人員の収容はできても、物資の配給がいきわたらない可能性が高い。</p> <p>■ラジオで放送したい内容（優先度順） 生命に関わる安全情報 避難所開設情報（必ずしも避難は必要ないということも伝達） 近隣との情報共有・安否確認 ライフライン・交通状況など 市外の被災状況（通信状況、特に不通になっているものの周知） 連絡がないことは、通信が原因の可能性について示唆する目的もあり</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通がストップしているため、移動をしないでください。 ・市内各地で停電、上下水道の不通等が発生しています。 ・ガスは復旧の動作をすれば使用可能な地域があります。詳細は確認中。 <p>【ラジオ放送内容】（他局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都内に大きな被害が発生しているが詳細は確認中 ・遠くからでも都内に大規模火災が発生しているのが確認できる ・新宿の高層ビルが倒れたというような報道はない。 	<p>いない。重症患者移送のため、搬送依頼あり。また、避難行動要支援者名簿等に基づく安否確認を実施中。</p> <p>環境部長 ふじみ衛生組合が設備点検のため、運転を停止。明日以降の稼働について現段階では不明。 上下水道について、調布管工土木事業協同組合の協力を受けて、対応実施中。</p> <p>都市整備部長 市内の道路及びがけ地の現況を確認中。道路渋滞もあり、確認終了まで時間が必要。</p> <p>教育部長 教職員についても、学校において避難所運営業務に対応中。 小中学校軽傷者が数人発生。 避難所には、近隣住民だけでなく帰宅困難者も集まって来ており、第一小学校、八雲台小学校や滝坂小学校など、国道20号線沿いのところは早くも体育館に入りきれず、教室への誘導を始めている。 ケガをしていない帰宅困難者については一時滞在施設への移動を誘導。 他の避難所についても、定員（800人）に近い人員が集まっており、すでに体育館だけでは収容が困難との情報あり。 教室への収容を検討しているが、物資の数量が足りていない避難所が多い。</p> <p>議会事務局長 21:00に調布市議会災害対策支援本部を設置した。各議員の安否、地域の状況を集約している。現在28名中●名と連絡が取れている。今後、適時情報を提供し、対応したい。</p> <p>【本部長指示】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①倒壊家屋からの救出に全力を尽くすこと ②負傷者のトリアージ、移送の支援に万全を期し、1人でも多くの人命を救うこと ③避難者、帰宅困難者の対応に万全を期すこと ④対応する職員に過大な負担がかからないよう、交代要員や休憩時間に配慮すること <p>・市民部長は、トラブルの起きている避難所に応援人員を派遣すること</p>		
22:30			<p>【家族状況確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一雄からメール、大学に泊まることになったとのこと ・171等も確認してみたが太郎からの連絡はなし ●暗くて何もできないので、とりあえず休むことにする ・和室に布団を敷き、好美と並んで寝ることに ・服は外出着のまま、靴を枕元に置いた ・不安もあり寝付けない 	<p>☆家族や知り合いが一人でもいっしょにいることで気持ちがかなり違うと考えられる 災害発生時にいっしょに居られる人を見つけておくことも必要</p> <p>☆暗い中の作業は二次被害の可能性があるので。 組織的な活動が望めない場合には、動けるときに備え休んでおくことも一つの選択</p> <p>◆周りに被害があることが判明している中、自分達だけ寝られるか</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
		・各避難所の担当者の判断で、石油ストーブの使用、毛布の配布、水やクラッカーの配布を始めること		
23:00	【まちの状況】 ・市内外の火災、停電していない地域では不安から消灯していないことなどから薄明るい ・救出救助などで動いている人もおり、街全体は眠っていない	【記者会見実施（第2回）】 報道関係者 5人 総合防災安全課が用意したペーパーに基づき、本部長が市内の被害状況、市の対応状況について説明		
23:30		【木島平村からの応援】 ・木島平村から固定電話の優先回線を利用した連絡 「バス1台に職員30人、水、食糧を積んで出発した」 ※高速道路が利用できない中で調布市までの一般道の道のりは約15～20時間かかるため、早くても翌日の到着 【中日本高速道路株式会社情報】 全線で安全確認中であり中央自動車道と関越自動車道については、点検終了後50km制限で走行可能。なお、数か所で高速道路に亀裂が入っているため点検には1日以上かかる。		・多摩地区一帯に被害が及ぶ災害のときに頼りになるのは、遠方の自治体との支援協定である。現在のところ、1対1の自治体間協定は木島平村のみ ★ある程度の距離をおいた特定の自治体との1対1の相互支援協定締結作業推進 ・八王子市や立川市といった都内の市や甲府市などの山梨県内の自治体、加えて茅野市などの長野県内などの計12市による大規模災害発生時における相互応援に関する協定について、ここ数年は連絡会議などが行われていない ★いざというときに生かそうと考えるならば、協定を結んでいる自治体とある程度の連絡を取り合い、関係を作っておくことが必要
		【協定団体等の動き】 ・都市整備部からの連絡により建設業協同組合、植木組合などが道路障害物の撤去作業を実施 ・照明機材について、市から調布駅前への照明器具及び電力供給車の配備を依頼。 車の手配を含め直ちに対応とのこと		

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
11:50		<p>【東京都から連絡】 ・陸上自衛隊練馬第一後方支援連隊が調布市に支援出場 明日午前6時を目途に調布市役所に300人規模で先乗り部隊が到着予定</p>		
24:00 (0:00)	<p>[市内の被害及び対応状況等] ○火災 市内6か所で発生 全体的には延焼防止。仙川については、鎮圧には至っていない。 ○市職員状況 市職員の対応体制 約500人 多くは、避難所での市民対応、保育園、児童館、学童保育などでの残った園児、児童の対応 緊急医療救護所と災害拠点病院との移送、帰宅困難者対応、さらには災害対策本部の関係事務などに従事 ○私立学校 ほとんどの生徒は帰宅。教職員等の水、食料も備蓄で対応 ○市役所庁舎状況 本庁舎内はかなり冷え込んでいる。 トイレは、使用不能(水道管損傷が原因と考えられる)使用禁止した。 ○緊急医療救護所 看護師と事務職員が不足している 人員に余裕がないため交代要員と替われない状態になっている</p>	<p>第三回災害対策本部会議実施 【各部報告内容】 危機管理担当部長 判明している被害及び対応状況について</p> <p>総務部長 職員の配備態勢、本庁舎内の被害状況について報告 対応中職員に対して毛布配布。携帯トイレを配布。(たづくりのトイレは使用可能)</p> <p>市民部長 教育部等と連携し、避難所対策を実施中。</p> <p>生活文化スポーツ部長 グリーンホール大ホールは停電により非常用発電を利用。ほぼ満席状態。職員が毛布と水と食料を配布。 国道20号線を下ってきた人々などで、調布駅前の滞留者が増え続けていることから、グリーンホール小ホール、たづくりくすのきホール及びむらさきホールを開放する予定</p> <p>子ども生活部長 子どものうち施設利用者の負傷者は約10人。いずれも軽症で切り傷が中心で、各施設で応急措置を行った。一部は保護者の迎えで帰宅</p> <p>福祉健康部長 緊急医療救護所状況について、大きな混乱はなく、淡々と負傷者への手当が行われている。看護師、事務職員、搬送車両の不足により、交代要員がいない。 慈恵第三病院に重症患者搬送を行っている。現在まで死者3人、負傷者約400人が出ている。</p>		<p>★職員が交代するに当たり、仮眠(休息)スペースの確保が必要</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
		<p>環境部長 がれき処理対策臨時組織の設置報告。がれき処理について緊急集積場所の開設を指示。 通常ごみの収集について当面休止し、がれき処理への対応を図る。</p> <p>都市整備部長 家屋の倒壊状況、がけ地における崩落の状況、道路の通行の可否について報告</p> <p>教育部長 帰宅困難者により、国道20号線付近の避難所では、受入人数の増大、住民とのトラブル等が報告されている。 現在の避難者数は約1万3千人。帰宅困難者の受入は収束状況にあり、今後落ち着くものと考えられる。</p> <p>議会事務局長 28人全員の連絡がとれた。</p> <p>【本部長指示】 ①倒壊家屋の下敷きになっている人の救出に全力で当たること ②避難者と帰宅困難者の対応に万全を期すこと ③緊急医療救護所で対応中の医療スタッフや事務職等への水と食料などを供給すること ④余震に備えるとともに、新たな被害の防止に全力を尽くすこと ⑤職員参集メールの再送信、部署間の調整等により交代要員の確保に努めること</p> <p>・職員は適宜交代しつつ、業務を継続すること ・災害対応に当たる職員への食料・水の供給を適切に実施すること ・緊急性の低い業務は一時休止し、職員の休息がとれるよう配慮すること。</p>		
1:00				
1:11	余震発生 震度4	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者や職員に動揺と不安が走る ・本部長指示により新たな被害等を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●かなり強い余震に驚く。家の被害は大きくなっていない模様 ●状況を知りたいのでロビーに行くことにする 	◆本震では表面化するほどの被害がなくても、余震で被害が発生することも考えられる
1:18	<p>【都内状況(多摩近隣)】 都内から戻った人の話から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造家屋を中心に倒壊家屋等発生 ・火災も多数発生(大規模はなし) 		<ul style="list-style-type: none"> ・特に取決めはなかったがロビーに人が三々五々集合 再度マンション内の安否確認を行うこととする(新たな被害はない) 	

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
	<ul style="list-style-type: none"> ・都内では大規模火災と見られるものすごい煙があがっていた。 ・道路は車が多く、幹線道路でも、なんとか一車線が利用できるかどうかという感じだった。 ・新宿方面から歩いて来る人は非常に少ない。（被害の影響で移動が困難になることが考えられる。） 		<ul style="list-style-type: none"> ・集合した人の中に都内（比較的調布に近い場所）から帰ってきたという人がいた都内の状況を聞く <p>【情報交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの知りえた情報を交換する 都内にいた家族で戻らず、連絡もない人が多くいることがわかる ・成城で買い物していた人は、駅前や道路はかなりの人がいたが、なんとか野川まで出ることができたので、川沿いを戻ってきたとのこと。他にも大勢の人が歩いていたそう。 <p>成城から調布まで、場所によって停電で暗かったが、目がなれると星明りでなんとか歩けたとのこと。自分の歩いてきた範囲では大きなビルの倒壊や大火災等の被害はなかったようだ、とのこと。</p>	
1:25			●部屋に戻る。好美にはマンションの被害がないことのみを伝え、都内の状況等は伝えず	
2:00				
3:00				
4:00				
5:00				
6:00	<p>少しづつ空が明るくなり始める</p> <p>[市内の被害及び対応状況等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎及び電算処理について 市の電算システムについては、たづくり設置されていることから、大きな被害はなく、データは保護されている。 市庁舎でのデータ利用については、なお調査が必要。 本庁舎への立ち入りが危険であることから、市役所業務は中止（復旧時期未定） ・避難所 小中学校への避難者数は帰宅困難者も含めて約22000人 人員態勢が不十分な状況 排水管の破損等によりトイレの排水ができない避難所あり <p>●教育長の判断で小中学校は数日間の休校と決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急医療救護所 死者4人、負傷者約600人でうち重症者は60人程度 	<p>第四回災害対策本部会議実施</p> <p>【各部報告内容】</p> <p>危機管理担当部長 これまでの状況をまとめて報告</p> <p>行政経営部長 市役所の業務休業について市民周知のために、防災行政無線、市のホームページ、調布エフエム、ツイッター、防災・安全情報メール、JCOM、その他報道機関に対して情報発信するなどできるだけのことをするよう広報課長に指示したことを報告</p> <p>総務部長 本庁舎と情報管理課の被害状況について報告。情報管理課の所管する基幹システムについては、大きな被害は出ていないが、市役所庁舎での電算機器の利用については、調査が必要。 本庁舎の立ち入りは危険があると考えられることから、本日の市役所業務は中止したい。</p> <p>市民部長 市民部、子ども生活部、福祉健康部は避</p>		<p>★トイレのレンタル会社の組合とも協定を締結し、災害時のトイレ不足に備えることを検討</p> <p>・災害対策本部には、調布消防署、調布警察署から職員の派遣を受け、連携した対応を行うこととなっている。</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
	<p>・交通機関 京王線をはじめ都内の私鉄やJRはそれぞれ点検が終了していないことから現在も運行見合わせ</p>	<p>難所での市民対応を中心に職員対応 一部の職員を市役所前庭に配置し、市役所休業に伴う対応に当たる 避難所対応職員の中には地震前から継続して業務に当たっている者もあり、人員の交代が必要</p> <p>子ども生活部長 保育園の施設の確認や給食設備の点検を行う必要がある 本日は保育園については、建物の被害状況を見て、一部を除き休園する。 児童館・学童クラブについては、建物の被害状況を見て、休館等を判断する。 ユウフォーについては、被害状況と学校との調整により休館等を判断する。 保護者に対して市のホームページ、ツイッター、調布エフエム、調布市子どもメール、J:COMなど使って周知するとともに報道機関に情報発信を依頼したい。</p>		
6:27	<p>日の出 ・都市ガスは復帰する地域が増えはじめている。</p>	<p>福祉健康部長 緊急医療救護所での対応状況報告。大きな混乱はない。死者4人。負傷者約600人。重症者は60人程度。 医師会から、市の事務職員と薬剤の供給が不足していることに、早急な対応を求められている。</p> <p>環境部長 ふじみ衛生組合は安全確認中。 水道管や下水道管の破損に関しては、管工土木事業協同組合が協定に基づき本格的な修理を開始した。損傷個所が多く、復旧には3週間以上は要することが見込まれる。</p> <p>都市整備部長 交通機関状況について報告。 道路啓開活動について報告。 職員が、建設業協同組合や植木組合さらに建設防災連合会などと連携して作業を実施。多くの道路で円滑な通行には至っていない。 応急危険度判定について報告。 午前中には、公的機関の建物の危険度判定を開始予定</p> <p>教育部長 避難所状況について報告。 朝食について、平等な配食ができるかが心配。</p>	<p>●明るくなってきたので、窓から外を見る一見大きな被害はないように見えるが、あちこちに壊れた家屋が見える 新宿方面は空の色が変わっている。延焼中のような。</p> <p>●状況を知るためにもマンションロビーへ（眠れていない） ・すでに何人かが集まっていた ・理事さんがラジオを持ってきていた かなりの被害が出ているらしく、アナウンサーの声の調子がおかしい テレビの映像が見たくなる</p> <p>【マンション状況の確認】 ・とりあえずマンションの状況を把握しようということになり、居住者リストを作成することにする。いない部屋の状況は隣室等に確認。</p>	<p>☆マンションでの安否確認、迅速な救助活動等のためにも居住者リストを事前に作成しておきたい</p>
6:40	<p>余震発生 震度4弱</p>	<p>職員が、建設業協同組合や植木組合さらに建設防災連合会などと連携して作業を実施。多くの道路で円滑な通行には至っていない。 応急危険度判定について報告。 午前中には、公的機関の建物の危険度判定を開始予定</p> <p>教育部長 避難所状況について報告。 朝食について、平等な配食ができるかが心配。</p>	<p>●すでに起きていたこともあり、震度4弱ではあまり驚く人はいない。</p>	<p>☆正常性バイアス（自分だけは被害に遭わない、大丈夫といった心理学的傾向）について、非常に危ないものであることを周知・啓発していく必要がある</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
		<p>トイレは、排水管の壊れている避難所について、全員に携帯トイレを配布 使い慣れない人も多く、多少の混乱が起きている 避難者の数はさらに増えつつある 休校について、防災行政無線、市のホームページ、調布エフエム、防災・安全情報メール、学校・安全安心メール、JCOMなどを使って周知するとともに報道機関へ情報提供を依頼したい。</p> <p>調布消防署 市内の火災は概ね鎮圧されており、今後火災が拡大する心配は少ない 昨日から今朝にかけて倒壊建物を含む延焼棟数は、300棟を超えている</p>		
6:50	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊到着 ・自衛隊の支援を受け、救出救助活動が展開 	<p>【自衛隊到着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副隊長及び連絡員が市災害対策本部に到着。本体は武蔵野の森公園にて拠点を設定中。 ・生存者の捜索及び救出に当たるので、市内の被災状況について確認したいとのこと。 		<p>★自衛隊の救出救助活動が円滑に行えるよう、災害対策本部で活動地域の優先順位等を把握しておくことが重要 地図にまとめておくなど、自衛隊がすぐに活動できるよう用意しておくことよい 市職員の動きだけでなく、警察・消防・市民等の活動状況等も抑えておく必要がある。</p>
7:00		<p>【記者会見実施（第3回）】</p> <p>報道関係者 5人 本部長から一連の事項を報告した後質疑応答 主に死者や負傷者に関する質問</p>	<p>【マンション住民の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ食事をしてから近隣状況を確認に行こうということになる 冷蔵庫の食品はどうしたらいいのか、などというたわいない会話もあり ・昨日の失敗を活かし、8人で近隣状況確認にでかける 花子はマンションに残ることに。 <p>【一雄からのメール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一雄より明るくなったので家に帰るとのメール 途中の状況次第では大学に戻るとのこと <p>【好美の外出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好美は学校の様子を見てくると言ってでかけた 	<p>☆冷蔵庫は開けなければクーラーバックと似たような機能となる 中身をいつも把握しておき、すぐに痛みそうなものから利用するのが良策 場合によっては腐らせるよりは、近隣に分ける、という選択肢もあり</p> <p>◆東日本大震災をはじめ、これまでの災害で餓死者は出ていない しかしながら、首都圏で大災害が発生した際にどの程度物流が期待できるか不明なため、十分な備蓄が必要と考えられる。</p> <p>◆不用意な外出は危険性を伴うが、友人等の安否も含めた状況確認ができる可能性がある。一人で行動することの危険について検討の余地あり。特に夜間の女性の単独行動は絶対に避けたい。</p>
8:00			<p>【マンション管理会社の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションの管理会社の社員が訪問 エレベーターは電気が回復するのを待って復旧させるとのこと マスターキーを使って返答がない部屋の安否確認を行う。 ロビーに、「外出先から戻った住人は安否確認のため、理事まで連絡すること」の掲示を行う 	<p>☆マンション全体で災害対策を進めることが重要</p> <p>☆マンションには、通常、天井の確認孔等はない。配管被害の確認には時間がかかると考えられる。</p> <p>☆配管等について事前に確認し、きれいな水を流して漏水を確認するなどの対策につ</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
			漏水があった家を確認。部屋への漏水は上の階の配管に被害があったためと考えられるとのこと。なお、他の部分も確認しないと水が流せるかわからないので早急を確認するようにするとのこと。	いて事前準備をしておいてもいいかもしれない。 ◆返事がない部屋では死者が出ていた可能性もあり
9:00			●家の片づけをはじめ 明るい中でみると思ったより散らかっている。食器棚が開いてしまったようだ 足元を片付け、食器棚はガムテープで開かなくした しばらくは紙とプラスチックの食器で済ますことにする。	☆食器棚等には扉ロックを付けるなどの事前対策があるとよい ガムテープやラップはいろいろな場面で役立つ。食器にはラップを巻くと洗浄しないで済む。 紙またはプラスチックの容器、割りばし等もあると便利 木製の食器も落下して割れにくいという点で有効
9:20			【太郎よりメール】 「無事だが周辺が大変なことになっているのですぐには戻れそうもない」との簡単な内容 とりあえず無事にほっとするものの、状況が気になる。	◆家族に全く連絡がない者がいた場合に、どのような状況になるか。 安否確認のため無理な活動をしてしまう人がいるのではないか。 (都内に向かってしまうなど)
9:35			●夜、外を見たとき少し離れたところでは電気がついていたので思い出す。 友人のところでテレビを見ることができるとかもしれないと思いつき、でかけることにする。 好美には手紙を残していくことにする。 ・明るい中で歩くと、夜より被害が多く見える。近所に住んでいる人がほとんどわからないことに改めて気づく。	◆好美がでかけているときに、花子も家を空けるということがありえるか。戻るのを待ち、好美から情報を得てから動き出すというのが現実的かもしれない。
9:45	余震発生 震度4弱		●移動中に余震。夜中のものほど揺れていない。 地震に対する恐怖が薄れているためか、家に戻るといことは考えていない。	☆震度4は、平常時であれば大きな地震と呼べるクラス 東日本大震災後も震度4クラスの地震では、驚かない人が多くなったようだが、どのような地震でも被害がでる可能性があり、安全対策が必要だということを認識することが重要。
9:55	・自衛隊の支援を受け、救出救助活動が展開		【友人宅到着】 ●布田3丁目にある友人宅に到着。電気がついている。 この家もマンション。オートロックの機械は動いているがエレベーターは復旧していない。 相手も不安だったようで喜んで迎えてくれた。 夫と娘が都内から戻らず、連絡もないのでずっとテレビを見ているとのこと。顔に	

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
			は疲労の色が濃い。マンションの5階で、家の中は地震で散らかったまま。テレビは地震で一度倒れてしまったとのことで、少し画面にヒビがある。 マンションの人にも声をかけてもらったが、いつ夫と娘から連絡があるかわからないので、ずっと家にいるとのこと。	
10:00	【テレビ放送】 ・テレビはずっと被害の状況を写している。 ・アナウンサーは見たことがない人。 ・東京の放送局ではないようだ。 ・都内を上空からヘリコプターで写した場面が多い。 ・新宿の高層ビルは倒れたりはしていないように見える。 ・ビルによっては煙がでたりしている。		●太郎の勤務するビルがどれだったかはつきり思い出せない。 確かあの建物というビルは大きな被害がないように見えた。	☆親族の勤務先や学校などは、被災地の映像等から情報を得るためにも、場所や周辺の景色も含めて把握しておきたい。
10:30			●好美のこともあるので家に戻ることにする。 友人は一人であるのが不安なのかももう少し一緒にいてほしいとのこと。 また来る、と約束して別れる。	
10:45	【避難所(3中)の状況】 ・避難所になっていて多くの人だったが、混乱している、というより、みんな疲れてしまっている、という感じ。 ・壁に調布市内の大きな被害等が掲示されていて、停電になっている場所は3分の1もない。 仙川で大きな火災があって、まだ完全に消火されていないので近づかないように、という指示がでている。 今日は12時半と19時に炊き出しが予定されているので、避難所利用者以外で必要な人は事前に登録することと、記載してあった。		・好美は家に戻っていた。少しほっとする。 ・好美から3中の状況を聞く。 家が停電なのは運が悪かったね、と話した。	☆避難所以外で過ごし、食事だけ必要な人は事前に申し出することを徹底する。 避難所でのトラブルは、場所・食事など、待遇の差(と本人が感じることに)に起因することが多い。
11:00				
12:00		【生鮮食料品調達要請】 市からマインズ農業協同組合及び米穀商組合に食料品の調達を要請		★市内のスーパー等とも物資供給について協定を締結することを検討
13:00			【一雄よりメール】 「稲城のあたりまでもどってきた。」	

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
14:00	<p>[救出救助活動状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒壊家屋捜索 約100棟 ・救出者 負傷者約100名，死者8人 <p>[市内の被害及び対応状況等]</p> <p>人的被害 負傷者約730人，死者15人</p> <p>物的被害 焼失及び倒壊家屋約300棟</p> <p>避難者数 約27000人</p> <p>交通状況等 電車は不通 道路啓開はある程度完了</p>	<p>第五回災害対策本部会議実施</p> <p>【各部報告内容】 危機管理担当部長 市内被害状況等について報告 現在，自衛隊，警察署，消防署，消防団，自治会などによる救出作業続行中 協定と市からの要請に基づき，トラック協会がJAマインズ等の調達した食料品を一両日中には，搬送予定</p> <p>総務部長 エレベータと給排水管修理を依頼中。 庁舎とエレベータ棟をつなぐジョイント部分が，度重なる余震で大きく開いており，余震が続くようであれば，本庁舎の状況を詳しく知る必要が出てくる。</p> <p>市民部長 避難者の状況報告 食料不足（配布遅れ）等から厳しい状況 ペット同行避難者，喫煙者等に係るトラブルが発生している。</p> <p>生活文化スポーツ部長 帰宅困難者が一時的に利用するための休憩場所や水，食料などについて電気通信大学や白百合女子大などの協力協定締結大学などへの施設開放を求めている。 大学からは，市に対して食料や水，毛布などを運んでほしいとの依頼を受けている。</p> <p>福祉健康部長 緊急医療救護所について 運営に当たる職員の絶対数が不十分，交代要員がいないため，医療活動に支障が出かねない。 子ども生活部長に依頼し，保育士を班に分けて緊急医療救護所へ派遣予定。 協定を結んでいる老人ホームや障害者施設に二次避難所を開設するため，無線で個別に依頼開始した。</p> <p>環境部長 午後3時から応急給水拠点での給水開始 防災行政無線での周知を依頼する。</p> <p>都市整備部長 バス事業者に道路啓開状況を伝達した。 午後4時から京王バス，小田急バスともに一部路線で運行を再開予定。</p>	<p>【太郎よりメール】 「2～3日は帰れないと思う」 ●3人とも無事であること，無理はしない でほしいことを返信</p>	<p>◆要援護者への対応は市施設での対応が優先であり，避難場所が不足した際等には，協定に基づき民間施設に開設協力を依頼することとなる。 この想定での依頼は今後に備えた事前確認（施設状況等）と考えてください。</p>

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
		(交通情報についてホームページ等を利用して発信。) 教育部長 避難所状況について報告 満員に近く、精神的ストレスが高まっているように見受けられる。		
15:00		【記者会見実施(第4回)】 報道関係者 6人 本部長から第5回災害対策本部会議の内容を説明 集まった記者に他市の状況を確認 狛江市、三鷹市、府中市、小金井市ともに同様の状況 どこの市も自分のところで手いっぱいの様子 都内や多摩地区のかなりの自治体に被害が出ている		★調布市の対応を行う記者が、災害時、他の自治体等も対応するか、対応する場合はどこになるか確認しておくことも有効か
16:00		・社会福祉協議会の使用施設の安全確認や対応人員の確保ができ、ボランティアの受け入れ体制が整ったことから、都にボランティア派遣を要請	【一雄帰宅】 一雄は、少し怪我をしている。 コンビニで水をくれたので助かったとのこと。	◆都の帰宅困難者対策条例では3日間は動かないことになっているが、郊外では移動が早いことが懸念される。(調布市も含めて) 人の移動により救出救助活動等が妨げられる危険がある
16:20			●2人に家をまかせて友人宅に行くことにする	
16:35			●友人宅到着 家族のことを聞かれ、全員確認がとれたと伝える 「なぜ、家は誰も連絡がないのか」と詰問される。だいぶ混乱しているよう。 どのような対応をすべきかわからない。	◆家族の安否がわからないことは精神的負担が非常に大きくなると考えられる。一人で不安な方に対してどのような対応が適切なのか、考えておくことも必要か。
17:00	[市内の被害状況等] 人的被害 負傷者約780人、死者22人	市災害対応における優先事項(この時点におけるもの) ・救出救助態勢の強化 ・避難所の適切な管理(二次避難所を含む)	●暗くなってきたこともあり、とりあえず友人に家に来るように誘う。家を開けることに不安があるようだが、定期的に確認に来ることで折り合いをつける。 友人が家族宛のメモを残し、マンションの管理人に伝言を頼んでから移動 ・友人を連れてきて、停電だったことを思い出す。 友人は暗いのが不安な様子	☆どこかに移動するときは、必ず所在がわかる状況にすることが望ましい。 自治会やマンション単位で、住人の状況把握ができる体制作りが必要。 ☆普段から、親族や友人等と災害時に相互避難できるような話し合いをしておくことが望ましい。 ◆電気が使える友人宅に移動するという検討もあり。

時間	状況	市の対応	市民の状況	課題など
18:00	停電は回復していない マンションの下水も使用できない 通信は発災直後より少し繋がりがよくなっている		・友人も含め、地震の後、みんな眠れていない。 ●食事をとったら交代で寝たほうが良いと思う。	☆2日間寝ないで活動していると怒りっぽくなり、次第に集中力を欠いていくという実験結果があります。不眠が心身に与える影響は大きく、災害時であってもできる限り睡眠をとるようにすることが重要です。
<p>最後に</p> <ol style="list-style-type: none"> 職員は、自らの身体、生命を最優先に守らねばならない。 職員は、災害対応が自分の職務であることを、自分が地方公務員であることと同じに知らなくてはならない。また、市は知らせなくてはならない。 災害時、市民からみれば職員は頼りになる存在である。市民とチームを組んで対応に当たるためにも、十分な知識や訓練が必要であり、普段からの研鑽を積みなくてはならない。また、市は研修・訓練の機会を作らなくてはならない。 職員は、地震に備えて自宅を耐震化し、適切な備蓄を行い、家族との連絡方法を決めておくなど、災害時に憂いなく、市の災害対策活動に従事できるよう備えておかなくてはならない。 災害対策本部や初動態勢について、職員の参集状況に応じて優先順位を定めたマニュアルを作成し、訓練をしておかなくてはならない。 				

★発生から24時間の動きをまとめたいい機会であるので、それ以降の各部の業務（動き）について、箇条書き程度でも必要度の高いものなどを抽出しておくことにより

★休日、深夜、朝の通勤時間帯に発生した場合、どう対応できるのか検討する必要がある。